



校長室だより

令和4年度
9月27日
NO. 5

PTA主催 秦梨生活安全教室

秋分の日に秦梨生活安全教室が開催され、全校児童と保護者の方々が一緒に防災について学ぶことができました。

昨年も企画されていたのですが、コロナ禍のため止む無く中止となってしまいました。2年越しに実施できたことをうれしく思っています。準備から運営に至るまで、PTAなかでも生活文化部の保護者の方々にはご協力に感謝いたします。

計画では、消防署の起震車による地震体験もしてもらはずだったのですが、あいにくの大雨のために、この活動は中止になってしまいました。その代わりに「新聞スリッパづくり」と「三角巾のつくり方」について体験学習をしてもらいました。親子が一緒になって真剣に「新聞スリッパづくり」に取り組んだり、三角巾をかけ合ったりする様子がとても印象的で、充実した活動になったと喜んでいます。

この日の午後からは、大雨警報が発令され、市内でも道路への冠水や家屋浸水のところもあったようです。繰り返し注意されていることですが、災害はいつ、どこで発生してもおかしくない状況です。親子で防災についての共通意識を持ち、いざというときに適切な対応ができる準備をしておくことは極めて重要です。その意味でいい体験学習ができたのではないのでしょうか。

また、学区の夏まつりのために仕入れた「おもちゃ、水風船等」を販売する「夏祭りコーナー」もみなさんのご協力のお陰で盛況でした。収益金は、今後のPTA活動において有効に活用させていただきます。PTAの方々が上手に盛り上げてくださったお陰で子供たちも楽しめたようです。

PTA会長さんが「半日、学校の中をまわりながら子供と一緒に防災について学べて楽しかった」と仰ってくださったのが心に残っています。PTA主催の「秦梨生活安全教室」が成功裏に終わったことをうれしく思い、PTAの方々のご尽力に改めて感謝申し上げます。



▲ 新聞スリッパづくり



▲ 災害時用簡易トイレ



▲ 水風船つり

学校で作った炭を使った炊飯活動！

夏休みが終わってすぐの9月1、2日で山の学習に行ってきました。山の学習についても昨年度は中止を余儀なくされました。今年は実施できたのですが、ちょうど市内のコロナ感染が急拡大していた時期と重なってしまったため、やむを得ず宿泊は取り止め、2日間のデーキャンプという形で実施することにしました。5年生と6年生と一緒に山の学習に行くのは今年度が初めてでした。児童数減ということもあって、今後も5、6年生が合同で山の学習を行うことを考えています。

子供たちが楽しみにしていた「落ち葉スキー」や「カヌー」は雨のために実施することができませんでした。「落ち葉スキー」の代わりに体育館でのレクリエーション、「カヌー」の代わりには、創作棟でのウッドバーニングを実施しました。きっと残念な気持ちは大きかったと思いますが、子供たちは仕方ないことと受け止めてくれました。だれ一人腐ることなく、みんなでレクリエーションを楽しもうとする子供たちの姿、ウッドバーニングの制作に真剣に取り組む姿は見事でした。予定外のことが多かった山の学習でしたが、数々の場面で子供たち自身が自分で考え行動する姿が見られ、感心の連続でした。当然ながら、先生たちが大きな声をあげることもなく、子供たちの確かな成長を感じることができました。

今回の山の学習のメインは、炊飯活動でした。一人用飯盒（メスティン飯盒）を使って、それぞれが炊き込みご飯をつくりました。炉は、学校で廃棄した児童机の天板を外したものです。その窪みに学校の炭焼きで作った炭を置き、ご飯を炊きます。試行錯誤しながらも、どの子もおいしくご飯が炊け大成功でした。また、外した天板は正方形に切り取り、ウッドバーニングの材料にしていました。いずれも、本校教員たちのアイデアです。自然の家の指導員さんからも、初めてのことで感心していただきました。いずれも子供に価値ある経験をさせたいという本校教職員たちの想いから生まれたものです。手前味噌になり恐縮ですが、自慢できる教職員集団と誇らしく思います。

天候が荒れてくることが心配されたため若干短縮はしましたが、キャンプファイヤーも盛り上がり、子供たち、教職員、それから保護者の方々を含め、全員で楽しむことができました。

本校の子供たちの成長と素晴らしさ、そして本校教員の凄さを感じさせられた山の学習になりました。



▲ 火おこし器で火種づくり



▲ 学校の炭を使って炊飯活動！



▲ 廃棄された児童机の天板を使って！